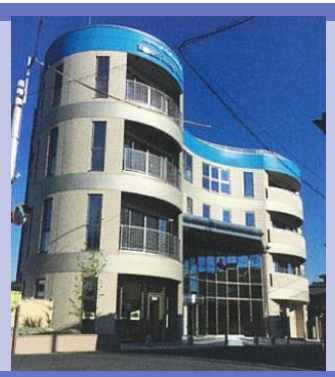
金橋ホールディングス株式会社（医薬品・医療機器・化粧品製造卸売業）

100億宣言

金橋ホールディングス株式会社



本社

〇本社所在地：奈良県橿原市
〇事業概要：持株会社としてグループ経営を統括。グループで医薬品・医療機器・化粧品等の開発・製造・卸売・直販
〇常時使用する従業員：196名
（グループ全体・2025年10月時点）
〇現在の売上高：35億円
（グループ全体・2025年9月期）
〇法人番号：5150001021439
〇Web：https://kanahashi-hd.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
守金 眞滋

「グループ力で美と健康に奉仕し、
人々の実り多い暮らしとよりよい社会づくりに貢献する」

金橋HDグループは、創業者・守金久次の「持てるものすべてを社会奉仕に注ぐ」との志を受け継ぎ、人々の美と健康に貢献する事業を展開してまいりました。独自技術とグループの総合力を結集し、国内外へ広く販路を拡大して2043年にグループ売上高100億円を目指します。事業成長の成果は、継続的な賃上げをはじめ、お取引先様や地域社会などグループに関係するすべての人々の満足度向上と幸福に還元し、世界に誇るものづくりを通じて持続的な成長を実現してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2043年にグループ売上高100億円の達成を目指す。
2032年に60億円超、2038年に80億円超と段階的に伸ばし、年平均5%以上の成長を続ける。

課題

・受注の増加に応えるダイヤ製薬㈱の生産能力の拡大
・グループ内取引に頼らない、各社の外部販売力の強化
・新工場の稼働に合わせた医薬品・医療機器の先行開発
・省力化・自動化による増員の抑制と労働生産性の向上
・兵庫工場に集中する生産の2拠点化（BCP対応）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・高取町の新拠点に工場を段階的に建設し、生産能力を拡大
・白金製薬㈱の総合提案型卸への進化と、
直販各社のEC・店舗による外部販売の拡大
・独自技術（SOLinGEL等）と国際特許を活かした、
海外輸出と大手向けODM受託の強化
・新工場と連動した先行開発・生産の省力化・省人化と、
兵庫・奈良の2拠点製造体制によるBCP対応
・経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業の成果と、
国立健康危機管理研究機構との共同特許で感染予防製品を事業化

実施体制

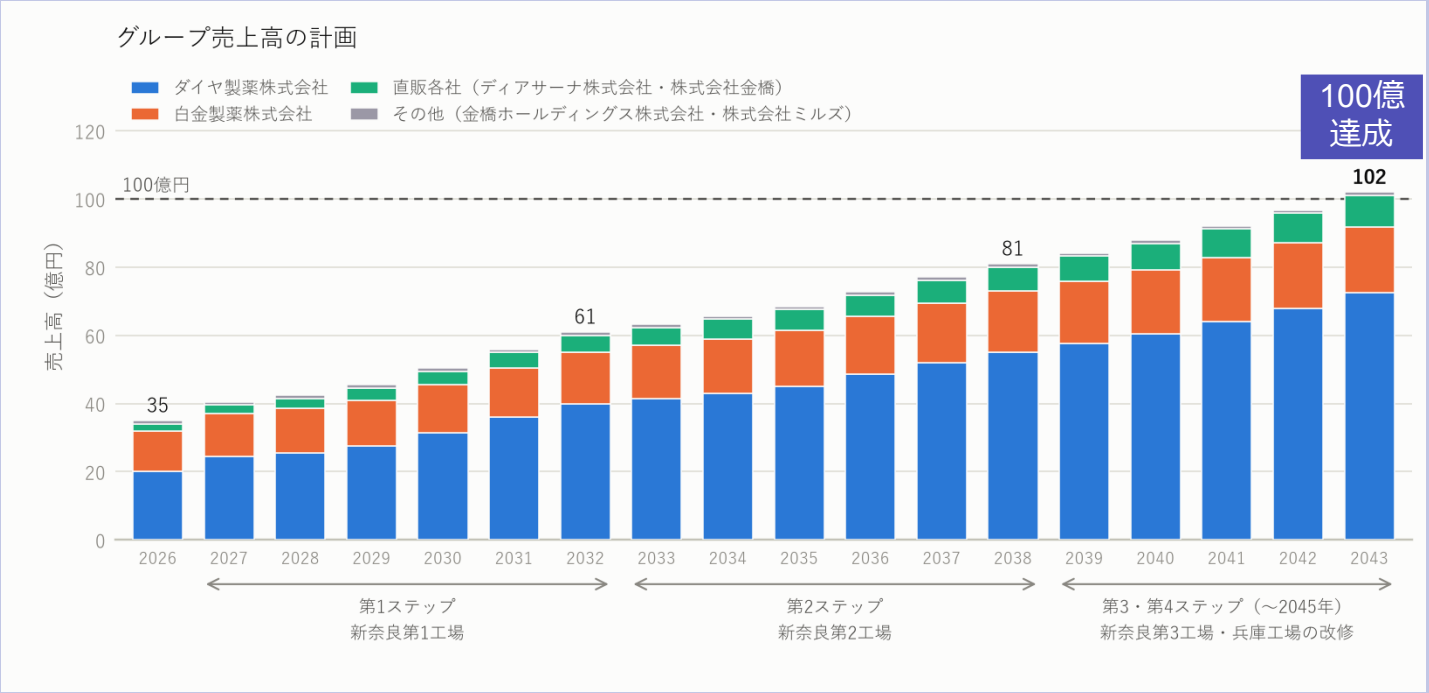
・金橋HD㈱がグループを統括し、行政・自治体との強固な
連携体制を構築し、取得した新拠点の整備と地域雇用を進める
・ダイヤ製薬㈱が、医薬品・医療機器・化粧品・感染予防製品の
開発・生産を担う
・白金製薬㈱がBtoB向けに総合卸・量販店への販売・
マーケティングを、ディアサーナ㈱と㈱金橋がBtoC向けに
EC・店舗での販売・マーケティングを担う
・外部専門機関（大学・ウイルス感染予防研究所）と共に
アカデミックな情報を発信し、製品の認知度を高める

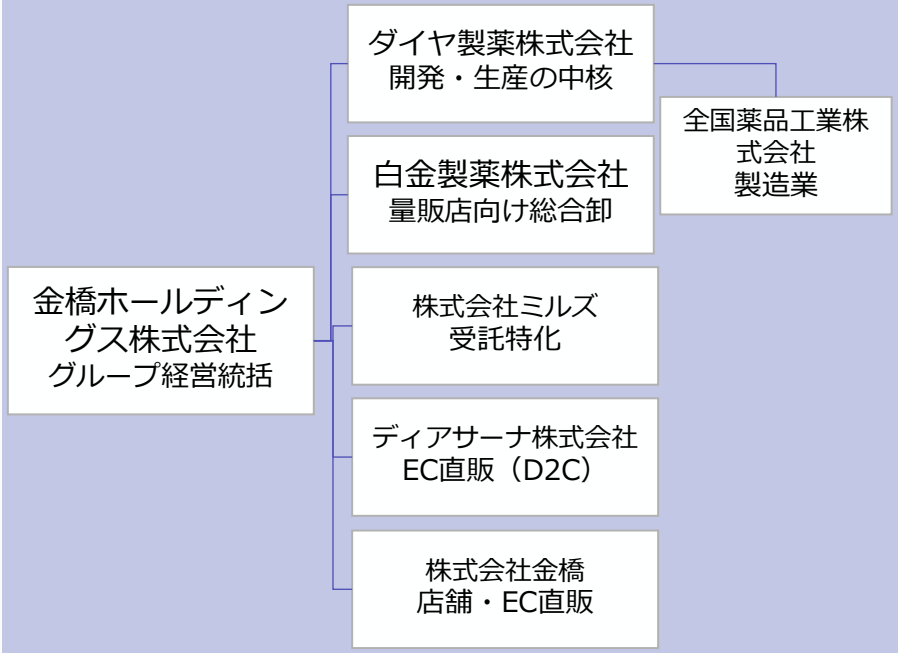
※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

金橋ホールディングス株式会社（医薬品・医療機器・化粧品製造卸売業）

100億円への成長ステップとグループ体制

【第1ステップ 2027～2032年】高取町の新拠点に新奈良第1工場を新設 ― 2032年 売上高60億円超
・医薬品・部外品の製造許可を取得し、自動化ラインの導入で主力製剤（貼付剤・冷却シート、液剤・医療機器・化粧品等）の生産能力を大きく高める
・新剤型・新受託向けの設備を導入し、医薬品・医療機器の新規受託を順次量産につなげる
【第2ステップ 2033～2038年】新奈良第2工場を増設 ― 2038年 売上高80億円超
・液剤・高機能医療機器・化粧品等の生産能力をさらに高め、新剤型の設備も拡充して高付加価値製剤へのシフトを進める
【第3・第4ステップ 2039～2045年】新奈良第3工場の増設と兵庫工場の改修 ― 2043年 売上高100億円
・主力製剤の生産能力をさらに引き上げ、第3世代経皮吸収製剤などの研究開発品の生産設備を導入する
・新工場では需要の変動に対応できる余力を持った稼働を計画し、自社販売と大手向けODM受託の双方を確立する





○法人番号：5150001021439（金橋ホールディングス株式会社）、8150001010661（ダイヤ製薬株式会社）、6150001010589（白金製薬株式会社）、
5150001011002（株式会社ミルズ）、5150001011638（ディアサーナ株式会社）、4150001011837（株式会社金橋）、2150001010601（全国薬品工業株式会社）